



## あいさつは何のためにするの？ ～ 相手と気持ちのよい関係づくり ～

# 前途洋々

朝から子供たちを見ていると、まだエネルギーが充填されていないのか、「とても元気！」という感じで登校している子供はあまりいません（まだ眠そうな子供もいます・・・）。また、バスの運転手さん、地域の方へのあいさつをしっかりとやっている子供は限られています。校内では大きな声であいさつできる子供も多いのですが・・・。本来あいさつは相手や時間を選んでするものではありません。相手に心を開き、気持ちのよいコミュニケーション、関係づくりの土台となるものです。そういった意味では、校外での地域の方々へあいさつ、校内での子供たち同士のあいさつがもっと聞こえてきてほしい・・・と思っています。今、運動会の練習中ですが、大きな声で歌ったり、応援団の声出しをしたりしています。このことを、普段の生活において、何らかの形で生かさないと思えます。さらに、社会に出たら、また、大人になったら、あいさつはもっと大きな意味を持ちます。習慣として、今のうちからしっかり習慣として身に付けておいてほしいと思います。



### 応援練習では・・・

21日（火）の全体練習では、団ごとの応援練習に時間を割きました。赤団の様子を覗いてみると、団長を中心に動きの指示があり、通して練習していました。全体に、しかも全員が理解できるように指示をするのはどんな小さなことであっても難しいものです。これも立派な経験です。四苦八苦しながら相手意識をもって伝える練習も必要ですから・・・。指示を受ける子供たちも、何とかついていこうと必死です。6年生は、自分たちだけでどうにか練習を切り盛りしていくのも貴重な時間です。こういった時間とおして一回り大きく成長してほしいものです。



### 係打合せでは・・・

21日（火）の6時間目、4～6年は、担当の先生と係の打合せを行いました。「いい本番はいい準備から」ということで、1時間だけでしたが、必要な準備を入念に行いました。スタートの係は、「位置について・・・」の声出しを、タイミングを確認しながらリハーサル。放送の係は、放送原稿綴りを作成し、実際に読む練習。他にも、それぞれの仕事の確認をしていました。これも、ある意味、実践的に生きる力をはぐくむ体験と言えるでしょう。自分の役割をしっかりと果たしてほしいです。（写真：原稿読みの練習をしている放送担当の子供たち）



### 朝から響き渡る歌声！

毎朝、元気な声で「運動会の歌」を歌う声が職員室まで響いてきます。特に1・2年生の声は、こちらの気が引き締まるほど！少ない人数ですが、体を揺らしながら出す声は迫力満点！本番も楽しみにしています。ちなみに2年生は、合わせて音読もやっています。（写真左：歌う1年生、右：2年音読の様子）



### 低学年のダンスも仕上げに・・・

低学年のダンスの練習は、仕上げの段階に・・・。23日（木）の全体練習のあと、1～3年の子供たちは本番のとおり、くまモンのお面、バンダナ、ポンポンを使ってダンスの練習をしました。楽しそうに踊る子供たちは本当にかわいいです。みんな一緒に踊りたくなるかもしれません。当日を楽しみにしててくださいね。（写真は、衣装を身に付けて準備をする子供たち）

